

## 田舎力甲子園に佳作入選 表彰式・シンポジウムに参加しました

3 年生 15 人で行っている祖父江の虫送りに関する活動のレポート『**時空を乗り越えたつながりを～平成最後の虫送り 杏和高校の挑戦**』が**田舎力甲子園 2018** で入選しました。

田舎力甲子園とは、福知山公立大学が主催し、『ニッポンの田舎を元気にする』という趣旨のもと、全国の高校生から地域活性化策のアイデアを募集して、内容を競うものです。最優秀賞 1 作品、優秀賞 1 作品、それに次ぐ佳作（第 3 席）でした。

本校以外に入賞した学校は、大手広告会社・テレビ局・県のとこのコラボであったり、県や市の各機関との長期にわたる連携事例であったり大規模で素晴らしいものばかりでした。その中で、シンポジウムではパネリストの先生方からは、意外なことにわが校の「人と人のつながりが何よりも大切」というコンセプトがとても高く評価され、生徒には自信になると同時に新たな課題を感じ取ることのできる素晴らしい機会になりました。

★7 月 21 日 表彰式・記念シンポジウムの様子 福知山公立大学にて



表彰されました



プレゼンも行いました



学長先生から褒められました



最後に記念撮影

★参加した生徒の感想

他の学校の発表は本当にすごかったです。まず私たちと行っている規模があまりにも違うので、こんなことをやれるんだとも思いました。私たちは大丈夫かなと不安が一気に募りました。発表中もドキドキして足が震えていました。他のメンバーもスラスラ喋れてすごかったし、伝えたいことをしっかり伝えている感じがしました。

“人との繋がり”を結論と出したことを高く評価されたのは嬉しかったです。自分たち発表は他と比べて規模が小さく、レベルが低いと思っていましたがそうではないこともわかりました。人との繋がり様々で、人にもよるけれど誰しもが大切にしなければいけないことだと思います。私も今の縁を大切にしていきたいと改めて思いました。友達、先輩、後輩、先生方たくさん関わることができるうちに関わっておきたいと感じました。

はじめに思ったことは、みんなスケールが違うなと思いました。最優秀賞の高校のプロジェクトの規模が大きすぎて目が点になりました。場違いじゃないか！と不安にもなりました。発表の時はとにかく緊張しました。でも、実際に発表！となると、切り替えて自分なりにできたかなと思います。

大学の先生に虫送りについてのコメントをいただいた時、とても嬉しかったです。発表で伝えなかったことがきちんと伝えて良かったなと安心することもできました。佳作に入るにあたって、多くの先生に好評だったと伺い、ほんとに嬉しい気持ちでいっぱいになりました。活動を評価してもらえるということは、幸せなことだなと思いました。

★今後の課題も明らかになりました

- ①ホームページつくる
- ②A to Z による虫送りの魅力発信（福知山公立大の塩見先生から勧められた）
- ③虫送りに関する市との連携、学校内での宣伝
- ④動画配信など宣伝の工夫
- ⑤後輩たちへ継承 など

今後も活動を続けます。